

平成29年度(2017年度)

管理事業名	博物館事業				総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第4節 多様な文化が交流するまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 9 博物館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	文化財保護課			
予算大事業名 施設管理事業 学芸事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 ・地域の文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していきます。その成果をさまざまな展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民の生涯学習活動を支援し、地域の文化を発見、見直し、創造していきます。 ・市民が集い、多様な体験を活かしながら主体的に博物館活動に参加することで、さまざまな連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとします。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
博物館入館者数	人	34,012	31,663	34,448	博物館が主催、共催する事業の参加人数及び観覧者数
刊行物数	数	8	9	8	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	26,260	26,566	27,348	良好な状態で保管している館蔵資料の数
成果の説明	平成29年度は調査研究の成果をふまえ、市民参画や学校教育との連携なども視点に入れながら7回の特別展などと関連イベントを数多く実施し、入館者は3万44千人でした。また、刊行物として展示図録、博物館だより、博物館館報を刊行し、調査成果を発表するとともに、中学校の歴史学習教材を製作しました。館蔵資料についても良好な状態で保管しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	964	761	656	△105
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,338	1,004	361	△642
経常収入 小計(a)	2,302	1,765	1,018	△747
給与関係費	43,142	44,959	46,495	1,537
物件費	64,283	61,278	67,076	5,798
維持補修費	2,947	2,676	19,773	17,098
社会保険扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,331	823	691	△132
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	55,416	55,416	57,340	1,925
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,430	2,472	2,506	34
退職手当引当金繰入額	1,872	1,997	1,866	△131
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	171,422	169,620	195,748	26,128
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△169,119	△167,855	△194,730	△26,875
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△169,119	△167,855	△194,730	△26,875
一般財源充当額	115,001	142,194	138,184	△4,010
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△54,118	△25,661	△56,546	△30,885

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	有料観覧者の減少により博物館使用料も減額しています。(▲105千円)
経常収入・その他	自動販売機設置手数料(▲205千円)が台数変更のため減少しました。 資料図録等有料頒布代(▲88千円)が減少しました。
物件費	主に博物館収蔵庫増設に係る収蔵庫棚(1,501千円)の備品購入費が増加しました。
維持補修費	博物館収蔵庫増設工事(9,958千円) 博物館高圧受変電設備改修工事(4,871千円) 吸収式温水機修繕(2,821千円)
減価償却費	中央監視設備の減価償却(1,925千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,302	1,468	1,018	△450
行政サービス活動支出	117,303	114,793	139,202	24,409
行政サービス活動収支差額	△115,001	△113,325	△138,184	△24,859
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	28,869	-	△28,869
投資活動収支差額	-	△28,869	-	28,869
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△115,001	△142,194	△138,184	4,010
一般財源充当額	115,001	142,194	138,184	△4,010
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 博物館使用料656千円、自動販売機設置手数料81千円、資料図録等有料頒布代251千円、自動販売機電気使用料16千円、雇用保険料本人負担分9千円、公衆電話使用料等4千円、その他1千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人あたりのコスト	平成27年度	34,012 人	5,040 円	博物館入館者1人あたり、5,682円のコストがかかっています。単位あたりコストの増は、主に博物館施設の維持補修費が増加したことによるものです。
	平成28年度	31,663 人	5,357 円	
	平成29年度	34,448 人	5,682 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,472	2,506	34
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,472	2,506	34
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	1,412,427	1,355,087	△57,340	固定負債	27,956	27,127	△829
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	1,412,427	1,355,087	△57,340	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	27,956	27,127	△829
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	297	297	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	30,427	29,633	△794
土地	-	-	-	純資産	1,388,297	1,331,751	△56,546
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
固定資産	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	6,000	6,000	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	1,418,724	1,361,384	△57,340
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,418,724	1,361,384	△57,340
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

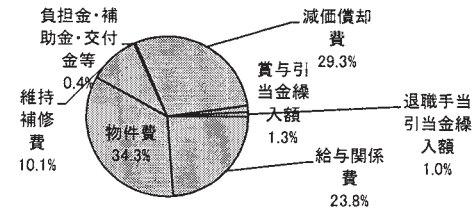
▼人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)	
	月平均	4人	月平均	3人	年間従事延日数		実人数
給与関係費等	35,166千円		9,848千円		582日	13人	50,867
内、時間外勤務手当	2,194千円						

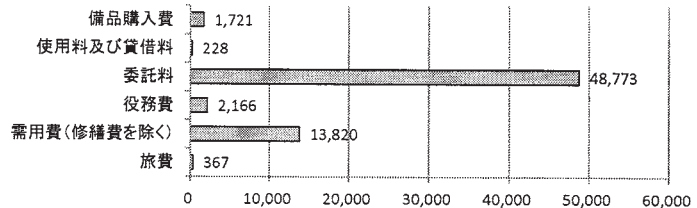
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	博物館の建物の減価償却による減(▲55,415千円)
事業用資産 無形固定資産	付帯設備(中央監視設備)による減(▲1,925千円)
	電話加入権

▼経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▼施設の概況

施設の名称	吹田市立博物館
取得年月日	平成4年(1992年)3月30日
建物・工作物の取得価額	2,797,819 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,442,732 千円
利用料金収入	656 千円

▼分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.1	0.1	0.7	0.6
施設老朽化比率	48.0	49.5	51.6	2.1
受益者負担比率	0.6	0.4	0.3	△0.1
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	98.0	99.0	99.3	0.3
経常費用対公共資産比率	6.2	6.1	7.0	0.9

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▼分析結果の説明

【貸借対照表】
博物館事業は、1,355,087千円の固定資産を有しています。このうち、建物の老朽化比率は51.6%と、市保有施設全体の老朽化比率の57.0%を下回っていますが、昨年度とくらべて、2.1ポイント老朽化が進行しています。

【行政コスト計算書】
経常費用は195,748千円であり、最も大きいのは物件費の67,076千円、次に大きいのは減価償却費の57,340千円、次が給与関係費46,495千円となっています。

▼分析結果を踏まえた事業の課題

施設の老朽化比率は市全体からみれば低いものの、開館から25年以上が経過した建物に付随する電気、機械、空調設備の老朽化が進行しており、施設の機能を維持するために設備の更新、補修が必要になると見込まれます。そのため財政負担の平準化の観点からも計画的な補修計画が必要と考えています。

平成29年度については、中央監視設備更新工事、博物館設備保守点検及びタイル保守点検委託業務を実施しました。また、年次計画であげられていた空調機器設計業務及び3階土間タイル漏水等対策工事について、平成30年度に実施します。